

「樹木オリエンテーリング」の樹木一覧（解説付）

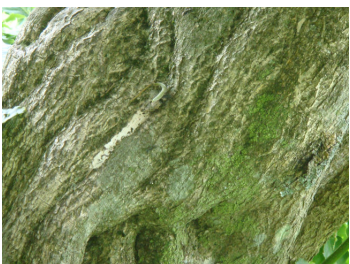
in 国立磐梯青少年交流の家

チェックポイントの樹木がどれなのか、この「樹木一覧」を参考に調べてみよう！！

- ☆ どの樹木かがわかれば、解答欄に樹木の名前を書き込みましょう！！
- ☆ 1つについて5点。20ポイントすべて正解で、100点満点です。
- ☆ 制限時間内に必ず戻ること！！ただ、速さを競うものではないので、「走らず」「グループメンバー全員いっしょに」探してみましょう！道路は特に気をつけてね。

アカマツ		【幹】幹は直立するか、やや曲がっている。樹皮は、白みを帯びた赤褐色で、縦長の亀甲状に亀裂が入り、剥がれる。 【葉】葉は針状の葉で、長さは7～12cm、幅は約1mm。 【豆知識】アカマツの下にはマツタケが生えることがあります。見てみましょう！！
イチョウ		【幹】樹皮は灰白色で厚く、縦に割れ目ができる。 【葉】葉は幅5～7cmの扇形で、中央に切れ込みがあるが、ほとんどないものもある。秋には美しく黄葉する。 【豆知識】イチョウの木の実「ギンナン」と呼ばれていて、ちょっと臭いけど美味しいです！！
オオバボダイシュ		【幹】樹皮は紫褐色で厚い 【葉】葉は6～15cmの心円形で、裏面に淡い灰褐色の毛が密生している。葉の付け根を見ると、左右交互に、ずれている。 【豆知識】仏陀が大樹の下に座り悟りを得たということで、「菩提樹（ボダイシュ）」という名前がついたそうです。
カラマツ		【幹】幹は直立していてもすぐ伸びている。樹皮は暗褐色で長い鱗片状に（魚の鱗みたいに）はがれ落ちる。枝は水平に張り出すが老木になると垂れるものもある。 【葉】葉はマツより短めの1～3cm程度の針葉で、20～40本が束状に生える。 【豆知識】極寒の地（すごく寒いところ）・断崖絶壁など、普通の樹木が育たないような特殊な悪条件でも生きぬくことができる、生命力の強い樹木です。

ケヤキ		【幹】樹皮は灰褐色で老木になると、鱗片状に（魚の鱗みだいに）はがれる。樹木の全体像を見ると、扇状に広がった外観である。 【葉】葉は卵形で、やや薄め。先は鋭くとがり、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。表面はやや光沢があり、ざらつき、裏面は淡緑色。 【豆知識】巨木になると、50m を超え、日本各地で「天然記念物」に指定されているものがあります。
コナラ		【幹】樹皮は灰褐色から灰黒色で、縦に不規則な裂け目がある。 【葉】葉の形は細長い卵状であり、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。裏面は灰白色で、細い毛が生えている。 【豆知識】コナラの「どんぐり」は、昔は食用として食べられていたそうです。
コブシ		【幹】灰白色で比較的滑らか。皮目が横に走っている。 【葉】葉は長さ 6～13cm の横に広い卵形。裏面は淡緑色。 【豆知識】「コブシ」の名前の由来、果実の形が手でこぶしを握ったときの形に似ているからだそうです。
コメツガ		【幹】樹皮は灰褐色で、亀甲状に薄くはがれる。若枝には褐色の毛がある。 【葉】葉は 0.6～1.5 cm の線形で、たくさん葉が、密集して生えている。葉先はくぼんでいて、とがっていない。 【豆知識】普通のツガより葉が小さいので、「小芽栂（こめつが）」からこの名になったそうです。今では「米栂」と書かれています。しかし、同じ「米栂」でも、「ベイツガ」と読む、種類の違うアメリカ産のツガもあるそうです。
シラカバ		【幹】樹皮は白色で薄い紙状にはがれる。枝は多岐に別れて伸びる。 【葉】卵の形に近い菱形、もしくは三角形に近い卵形で、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。長さが 4～10cm、幅は 3～6cm ほど。 【豆知識】シラカバの樹液は甘く、樹皮にアリが寄ってくる。そして、シラカバの樹液は「キシリトール（人口甘味料）」の原料になるそうです。
スギ		【幹】樹皮は赤褐色で縦に長く裂ける。 【葉】長さ 1 cm 弱の針状の葉をたくさんつける。葉はらせん状についている。 【豆知識】スギといえば花粉症。2～4月の花粉症はスギの花粉が原因であることが多い。年々スギからでる花粉の量は増えているそうです。

ソメイヨシノ		【幹】樹皮は暗灰褐色で、皮目が横長になる。 【葉】葉は卵状の楕円形。先は急に尖り、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。葉の表は、ほとんど無毛だが、裏面の葉脈上、および葉柄に細い毛がある。葉の付け根を見ると、左右交互にずれている。 【豆知識】日本のサクラはソメイヨシノが多い。もともと一本の樹木から分けられているため、同じ地域のソメイヨシノはほぼ一斉に開花します。
タラノキ		【幹】全体に鋭い「とげ」がある。幹は余り分岐せず真っ直ぐのびて、上方で枝分かれています。 【葉】葉は卵形から楕円形。葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。枝を境に左右対称になるように葉が生えている。 【豆知識】「タラの芽」は、「山菜の王様」と呼ばれています。てんぷらにして食べるとおいしいです。
トチノキ		【幹】樹皮は灰褐色で老木では大きな厚い片となって剥離（はがれること）し、特異な紋様をなす。 【葉】葉が非常に大きく、形は付け根が細い楕円形で、5～7枚の葉が掌状についている。 【豆知識】トチノキと同じ種類の「マロニエの木」は、パリの街路樹として有名。
ナナカマド		【幹】灰暗褐色で細長い皮目がある。 【葉】葉は細長い卵形または楕円形で、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。枝を境に、左右対称になるように葉が出ている。 【豆知識】燃えにくい木で、「7回かまどに入れても燃え残る」というのが、名前の由来だといわれています。
フジ		【幹】「つる」が長く伸び、他の樹木などに、右巻きで巻きつく。 【葉】葉は羽根のような形で、葉の縁は「のこぎり」の歯のようになっている。枝を境に、左右対称になるように葉が出ている。 【豆知識】昔から、庭に「ふじだな（棚をつくりフジを生やす）」を作るのに使われています。
ホオノキ		【幹】樹皮は灰白色、きめが細かく、裂け目がない。 【葉】葉は大きく、長さ20cm以上にもなる。葉の形は付け根が細い楕円形で、白っぽい明るい緑色。裏面は白い粉をふく。枝先では、たくさんの葉が輪状に生えている。 【豆知識】ホオノキの下には他の植物が生えにくい。これはホオノキの「根」や「落ち葉」から、他の植物の生育を妨げるような物質が出ているからです。

メタセロヤ		【幹】大きいものでは35mにもなり、皮は赤褐色で縦に裂ける。 【葉】葉は線のように細長く、長さは1～3cm、幅は1～2mm程度で、葉が羽根状に生えている 【豆知識】もともと化石でしか発見されていなかったため、絶滅したといわれていたが、60年位前に「生きた木」が発見されました。よって「生きた化石」といわれています。
モミジ		【幹】樹皮は淡灰褐色 【葉】葉は、直径4～7cmで掌のような形をしている。葉の付け根を見ると、左右の葉が同じ所から出ている。秋には赤く紅葉する 【豆知識】秋の紅葉は、「葉が赤くなる」というよりは、秋になると、葉っぱの緑色の成分がなくなってしまう、あとに赤色だけが残るため、葉の色が赤くなります。
ヤマミツツジ		【幹】枝に褐色の毛がある 【葉】葉は、楕円形または卵状の楕円形で、長さ3～5cm。葉の表面は緑色、裏面は灰緑色。葉の両面とも毛が多い。葉の付け根を見ると、左右交互にずれている。 【豆知識】ヤマツツジは鮮やかな花をつけるため、庭木としても植えられています。また「盆栽」として鉢に植えられることもあります。
レンゲツツジ		【幹】樹皮は灰褐色でほぼ平滑（なめらか）。 【葉】葉は、細長い楕円形で、長さ3～5cm、葉にしわがついているものが多い。葉の付け根を見ると、左右交互に、ずれている。また、枝先では、葉が輪状に生えている。 【豆知識】この木には、痙攣や呼吸停止を引き起こす毒が含まれているため、草食動物も避けます。皆さん食べないでね！！

1ポイント「5点」です！！

☆樹木調べのポイント☆

- ① 樹皮の様子をよく見る。(樹皮の様子や、ひび割れ、模様など)
- ② 葉っぱの特徴を見てみる。(葉の形など)
- ③ 葉っぱの生え方。(一箇所から葉っぱが出ているか。別々のところから葉っぱが出ているか。)

2008年6月現在